



静岡新聞で学ぼう

大自在

「幸せ」とは何か。もちろん国によっても、人によっても違う。身近なところにあったというのはおなじみメーテルリンクの「青い鳥」。幸せは物質的な豊かさでなく、心の充実があると独自の指標「国民総幸福量（GNH）」を掲げるのはヒマラヤの小国ブータンだ▼以前の国勢調査では90%以上の国民が「幸せ」と答えたというから「幸せの国」と呼ばれるのもうなずける。

「幸せ」のことならこの人の話にも耳を傾けたいと思う▼「世界でいちばん貧しい大統領」の愛称で知られる南米ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさん(80)だ。昨年まで5年間の任期中、豪華な公邸には住まず、郊外の農場で質素に暮らし、報酬の大半は貧しい人々に寄付してきた▼クレジットカードや銀行口座を持たず、公務の間はトラクターに乗って畑仕事と養鶏をして過ごしてきた。「大統領がひとにぎりの金持ちと同じ生活をしていたら、国で何が起きているかわからなくなる」(世界でいちばん貧しい大統領からきみへ 汐文社)▼国連の国際会議でのスピーチが印象にある。190余りの加盟国の最後、各国の参加者が去り、聴衆がほとんどいない中で語り掛けた。物質主義が世界を覆う中で、「私たち自身の生き方を見直さなければならぬ」と▼そのムヒカさんが来日し、幸福論などのテーマについて各地で対話を重ねている。本の中にムヒカさんの言葉がある。「人生を意味あるものにするかどうかはきみ次第だ」。この対話行脚、若者たちにはきつと魅力的なひとときになるだろう。

2016.4.8

2016年4月8日 朝刊

①90%以上の国民が「幸せ」と答えた国はどこでしょうか。

[]

②ホセ・ムヒカさんの愛称は何でしょうか。

[]

③ムヒカさんが人生について語っている言葉を書きましょう。

[]

年 組 名前

(小学校中学年以上・中学校 道徳)